

万代の風

万代コミ協だより第25号

2017年(平成29年)1月20日

万代地域コミュニティ協議会

発行者:丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

=旧万代小学校跡地のマンションと保健福祉センターの建設=



鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上18階塔屋2階共同住宅

工事期間:平成28年5月31日~平成30年8月21日

下3枚:8月~10月の杭打ち工事



平成28年10月



(仮称)ロイヤルパークスER万代工事の進捗
 事業主:大和ハウス工業(株)、(株)リビングギャラリー
 設計:浅井謙建築研究所(株)
 施工:(株)福田組、総合企画:(株)トワ総合システム



10月:基礎工事の掘削(上)
 (右)11月:基礎工事の型枠・鉄筋工事

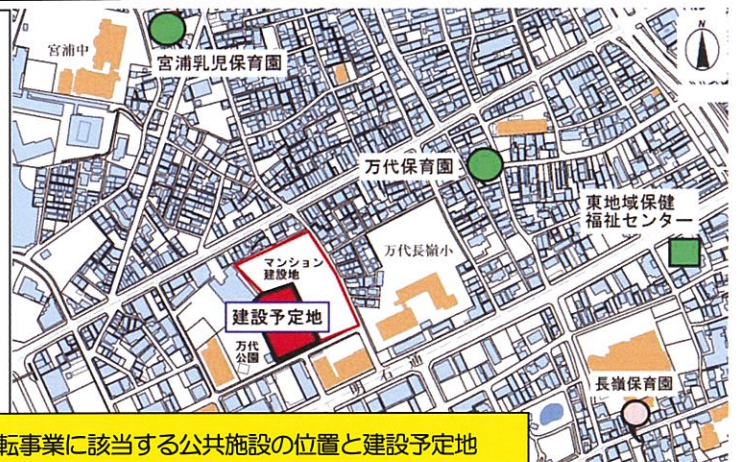


2月:左上矢印は駐車場の基礎工事の掘削

万代・宮浦乳児保育園及び長嶺保育園・東地区保健福祉センター
 移転事業説明会
 12月15日 万代市民会館

●万代保育園、宮浦乳児保育園及び東地区保健福祉センターを旧万代小学校跡地に移転合築し、平成32年度に開設する。●万代保育園と宮浦乳児保育園の移転統合により定員を50人増やす。最大受入可能児童数177人。受入年齢・2ヶ月から就学前まで

●長嶺保育園は定員確保のため当月の間、存続し、統合時期を検討する。●規模は4階建て以下 延床面積は2500㎡、保育園2階以下1250㎡、保健福祉センター1250㎡、駐車場50台以上、駐輪場20台程度。一時預かり拠点園



移転事業に該当する公共施設の位置と建設予定地

みやの万代ぶつぶつ

～ 天皇の退位について ～

最近70代になったせいか、自分の人生は自分が主人公。皆がそれぞれの主人公だ。しっかり生きたいものだ。今までこんなことを真正面から考えたことはなかった。ところで天皇陛下は、8月、退位への願いをにじませたビデオメッセージを公表された。自分の人生を振り返ってみると、60歳で定年退職したことは、大きな節目であった。あと20～30年生きることになるが、ボランティアに参加、再就職、自治会など地域づくりなど選択することになる。天皇にはいわゆる定年がない。自由に退位したりは出来ない。皇室典範の法整備が必要となる。政府の有識者会議は今年1月にも論点を公表する。天皇にはできるだけ人間らしく生きていってほしいものだ。政務多忙から生活習慣を悪化させてはならない。退位して好きな京都でゆっくり過ごしたいという気持ちが、それを公式に言い出せないのが問題である。

副会長:宮川 善徳

編集後記

大寒が過ぎ、二月如月となりました。寒さが厳しく着物の上に着るので「衣更着き(よりぎ)」とも言うとか。二月四日はもっ立春。焦らず、ゆっくり、年度末はもうすぐ。

編集委員:田所暁雄

＝ 流作場開拓と湊争訟 ＝

流作場どっと萬代 その2

越後守護上杉謙信時代三ヶ津と言っ蒲原、沼垂、新潟、三港があり阿賀野川、信濃川の港湾都市として共に栄えていた。然し、寛永八年（一六三一）大洪水により阿賀野川と信濃川を通船する細流加茂屋掘りが決壊し阿賀、信濃両川の水戸口が一つとなつて海に注いだ。

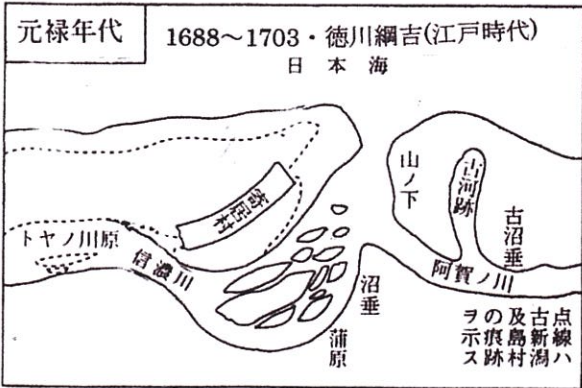
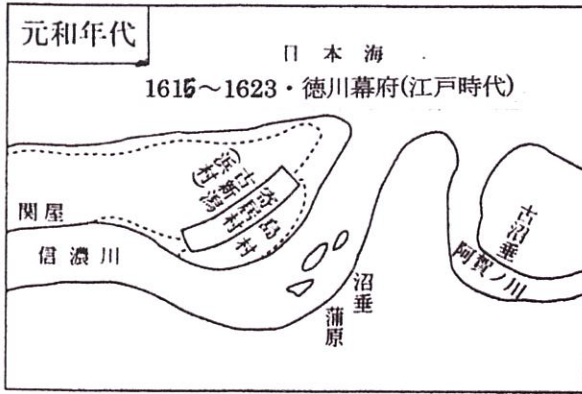
此の為沼垂、蒲原両港は水流の変化による川欠けで次第に陸地が削られて港湾都市機能が著しく低下し蒲原港は衰微して終つた。沼垂は機能回復のため延宝七年（一六七九）王瀬に掘割を開鑿した。これに対して新潟町から異議が幕府へ提出されて訴訟となり延宝九年幕府は新潟町の勝訴とした。以来文政八年まで両者の間で七回の争いがありこれを湊争訟と言つ。元禄時代には信濃川に十三の島嶼が形成されその帰属を廻り沼垂、新潟間で元禄十年争訟が起こり同十二年幕府評定所は新潟町の勝訴とし以後長岡領として新潟町に属した。此の無人の島嶼を「附寄島」と言つた。

延享三年（一七四六）長岡藩六代藩主牧野忠敬は藩財政建て直しのため開拓請負金二千七百五十両を納める者に「附寄島」開拓の権利を与える事で公募した。これに安倍玄的が応じた事に対して新潟町から藩庁へ開発中止の訴えが提出された。理由として川港の宿命で上流からの土砂が堆積し船の水路が定まらず年々港の機能が低下する悩みがあり非常事態に至つた時「附寄島」へ港湾都市機能の全てを移す計画があつた。これに対して貞享元年現在地に移転した沼垂町から異議が幕府評定所へ出された。それは附寄島が沼垂、蒲原の土地の川欠で出来た物であり沼垂に距離も近く当然沼垂の物との訴えでこれを延享の争訟と言ひ延享四年新潟町の勝訴となり開拓が認められた。

長岡藩は新潟町に十二ヶ条の誓約書を示し開発人安倍玄的、近江屋曾平、寺山幸助、中倉源兵衛、関川助市の五名を以つて開拓を命じた。

◆次回五名の開拓者と長岡藩が新潟町へ提示した十二ヶ条の誓約書について記述します。

三社神社 大橋 毅



2016年度 万代地域コミュニティ協議会 講演会 第2弾

伝統芸能と日本茶を楽しむ

江戸からくり人形鑑賞会

- 日時** 2月21日(火) 14:00~15:30
- 会場** 東新潟コミュニティセンター 2階 207号室
新潟市中央区東万代町9番1号 (新潟市万代市民会館2F)
- 料金** 参加無料 (美味しい日本茶とお菓子付き)
- 講師** 越後大郷からくり館館長 日根之和氏
- 定員** 40名 (定員になり次第締め切りとなります)



※日本茶協力/【浅川園】昭和11年創業。古町通7の本店、市内の百貨店やショッピングセンターにて、煎茶・番茶・抹茶・ほうじ茶などを販売。安心安全な本物の味にこだわり、美味しいお茶の淹れ方や楽しみ方の提案も行っている。

お申し込み (お電話にて下記へお申し込みください)

☎025-255-1388 【受付】平日10:00~17:00
【企画運営】株式会社BBS新潟(新潟市中央区万代3-4-10)

【主催】万代地域コミュニティ協議会 広報委員会

この事業は新潟市地域活動補助金の交付を受けています。

本紙は新潟市地域活動助成金をうけて制作しています。